

2018年8月6日
愛知製鋼株式会社

男性社員の家事・育児参画に向けた取り組み ～「第2回 ダイバーシティ講演会」を開催～

愛知製鋼株式会社（本社：愛知県東海市、代表取締役社長：藤岡高広）は、女性活躍推進に向けた風土・意識改革の一環として、8月2日（木）、当社本館の大会議室において「第2回 ダイバーシティ講演会」を開催し、役員および社員総勢約100名が参加しました。

本講演会では、昨年開催した「第1回 ダイバーシティ講演会」のアンケート調査において、「女性活躍推進のためには、男性社員の家事や育児に対する意識改革が必要だ」と回答した女性参加者が多かったことに着目し、テーマを「男性社員の家事・育児参画」に設定。当社のナイスファミリー制度[※]の利用対象者の中から、男性社員とその上司を中心に参加してもらうことで、イクメン・イクボス/カジメン・カジボスへの第一歩を踏み出すことを目的に開催しました。

講演会は、社外講師によるセミナーに加え、役員・社員混合のグループワークの時間も設け、話し合いを通じて、世代間の意識や価値観のギャップとワークライフバランスが一層重要とされている現状を認識しました。

グループワークでは、男性社員も家事・育児に参画するためには、当社が積極的に進めている職場での生産性向上および働き方改革が最も重要であるという考えのもと、現状の職場環境や仕事の進め方、職場でのコミュニケーションに関し、既にできていることだけではなく、課題についても議論しました。当社の現状を共有した上で、男性社員が家事・育児に参画するために職場や家庭でどのように行動していくべきなのか、参加者一人ひとりが「I Will 宣言」として決意を表し、参加者の意識変革を促すことができました。

当社では、2016年にダイバーシティ推進チームを設置するとともに、「女性活躍推進のための行動計画」を策定しました。その目標達成に向け、女性社員とその上司を対象とした「キャリアデザイン研修/育成マネジメント研修」を開始した他、在宅勤務制度も開始しています。今後も社員が仕事と家事・育児を両立できる環境を整えるため、全社を挙げて女性活躍推進と働き方改革の両輪で各種取り組みを実施し、誰もがいきいきと活躍できる職場づくりを進めていきます。



※ナイスファミリー制度

当社社員が自身のライフステージに応じて様々な働き方を選択できるよう定めた、育児・介護のための制度のこと。育児に関しては「育児休業」、「育児短時間勤務」、「育児特別休暇」、「育児のための深夜勤務の制限」、「育児のための所定外労働の免除」、「育児のための時間外勤務の制限」などがある。